

和歌山県本部の役員のみなさまへ

はじめまして、「東佐吉えん罪」事件の青木恵子と申します。畑中さんのご好意により、限られた紙面の中で、みなさまに、私の無実の訴え、日々の生活について、お話しできる機会をもてたことに、とても、感謝しております。

平成7年7月22日の夕方、突然の火災により、大切な娘を亡くしました。

火災に気が付いた時、水たまりの真中に火が4ヨロ4ヨロとある程度だったため、台所に行き、桶の水を持ち、お風呂場に居た娘に声を掛け、火が出ている場所に行き、水を掛けたところ、ボウッと広がったので、じっとりして、桶を放り投げ、119番に掛けました。

この時、お風呂場の中に入り、娘を連れ出していかば、娘は助かっていたかもしれません。私の落ち度は、娘に声しか掛けずに、火を消すことに走ったことです。今も、「あの時、すぐに……」と思うと、悔しいし、情けないし、娘に對して自責の念で一杯ですが、当時は、

周りの人達、両親からも責められて、とても辛かった。火災後、警察から事情を聞かされた。しかし、まさか、逮捕されるとは夢にも思いませんでした。9月10日の早朝、刑事達が来て、「話を聞きたいので用意してー」と言われたので、私は、「火災の原因が判ったんだ」と思いました。マシマシの玄関を出ると、当時8歳だった息子とも離れて、朴さん、私、息子は、別々の車に乗せられました。私に、「朴さん、手錠をせいでいいから、ただけでもありがたいと思え」と、大声で怒鳴られて、認められませんでした。取調室に入り、いきなり「やっただやう」と言われて、私は「やってません」と言いました。刑事は全く聞く耳を授けていませんでした。

その上、朴さんが、娘に性的虐待をしていたことを聞かされて、私は、「なんのことと言うの」と信じられない気持ちでした。その一方で、刑事は「お前は、女としてM(娘)を許すから、お前が殺したのか、三角関係のもつれから殺

した人か、一、等と暴言を言われて、頭の中が真っ白になり、パニック状態に陥った。私は、娘をそこして以降、食事にも出まなくて、精神状態も不安定だ。た上に、上記のことを聞か、益々、おかしくなっていたと思います。再び、刑事から「本当の話や、私の精液が、Mの腔内から出てきている」と言われ、信じられない限りありませんでした。私一人が、「自白」したというアッパースを見せられ、息子も兄の所の養子になると聞かされて、私は、「もう一人。Mちゃんのとこに行きたい」と思い、刑事に言われたが、ままの言葉で、白い紙に5枚書きました。

その夜、弁護士さんが来て下さり、「やっぱない」と話したところ、「やっぱないのなら嘘のことを書いてはいけません」とアトバウスをもらいました。9月14日刑事から、「お前、Mを助けようとした人か。たということは殺したも同じことやぞ。なんで助けようとしたんや、たんや」と言われて、やっぱり、私のせいなんだと思い、死にたい気持ちになり、2回目の「自白」3枚

書かされましたが、それ以後は黙秘を貫きました。起訴された、一審無期懲役、控訴棄却、上告棄却で、現在、和歌山刑務所で、受刑者扱いという屈辱の中にも、自分なりに楽しく、明るく生きています。裁判で、約12年、刑務所生活4年、16年の獄中生活を送ってまいりましたが、私は、無実を証明できる日まで争い続けます。幸い、私には、付じて下さる弁護団、支援者のみなさまに支えて頂けているので、負けずに争うことが出来ます。上告審の途中でも「再現実験」が行われて、真実が明らかになされたのが、裁判官達は見えてくれませんでした。再び「再現実験」が、5月20日に行われて、真実がより一層明らかになりました。今度こそ、勝利できるものと信じていますので、みなさまにも、ぜひ、DVDを観て頂きたいです。「東条信吾事件」は、他の事件と違って、私自身が、朴さんを許せないために、共に争って行くことができず、ご支援して頂く上で、大変やりにくいことが

心苦しいです。私の気持ちを察して頂いた上で、ご支援して頂ければ幸いです。

グリーの受刑服を着た時は、「なぜ？私が」と、本当に悔しくてたまりませんでした。ですが、「再審」という目標が私の心を変え、また、梅井さん（布川事件）の助言もあり、楽しむことにしました。

絵手紙のうろこで学ぶ、点訳のうろこで学ぶ、漢字検定も取り、今は、「手話」の勉強をしております。どこにいても、無駄な時間はないと思い、この中たかそこそ出来る事があふとづらす思考で生きている。今後も、集経で、資格の4エッ等、責任を感じつつ、ミスしないように真面目に努力しております。自由に外に出られず、飯を食べて物が食べられない以外、みなさまが想像される程、辛い生活ではありませんよ。

それ 외에도、私は、保険金か欲しいため、我が子を殺すような母親ではありません。私は無実です。どうか、一日も早く、高齢の両親、息子のもとに帰れるように、ご支援をお願いいたします。

青木恵子